

## 【附属病院 GP 関連教育連携班の概要】

学部の臨床実習の拠点病院である群馬大学医学部附属病院（以下、附属病院）と保健学研究科の連携を強化して、地域完結型看護実践ができる看護職の育成プログラムの開発と実施をめざして「附属病院 GP 関連教育連携班」（以下、GP 教育連携班）が平成 28 年 4 月に発足された。附属病院 GP 関連教育連携班の役割と概念図を図 1 に示した。

平成 29 年度の班会議は 9 回開催された。



図1 附属病院GP関連教育連携班の役割と概念図

## 班のメンバー構成

### 保健学研究科

教授（班長）1名  
助教 4名  
（うち1名は GP 専任助教）

### 附属病院看護部

看護部長 1名  
副看護部長 2名  
（教育担当、業務担当）  
看護師長 3名  
（教育担当、新人教育担当、患者支援センター）  
病棟副看護師長 1名<sup>注1)</sup>  
看護師 2名<sup>注2)</sup>  
注1) 人事交流経験者  
注2) 1名は人事交流経験者  
1名は履修証明プログラム修了者

## 【平成 29 年度の班活動】

### 1. GP 事業と在宅ケアマインドについて看護スタッフへの周知活動の継続

- ①群馬一丸 GP の概要と在宅ケアマインド、履修証明プログラムと大学院コースについて記載したリーフレットを全看護職一人一人に配布
- ②看護部が企画・運営している研修に班員が出向き、附属病院 GP 関連教育連携班のビジョンと在宅ケアマインドについてのプロモーション活動を 9 回実施（300 名：昨年度 412 名。延べ 712 名）

### 2. 暮らしを見据えた看護の実践に向けた取り組み

- ①在宅ケアシリーズ研修の実施（全看護職員対象：延べ 486 名受講）
- ②ビジョンに基づいた暮らしを見据えた看護実践ができる看護職の育成のための看護管理 I 研修「退院支援」の実施（副看護師長対象：65 名受講）
- ③各部署別の退院支援フローチャートの作成と活用
- ④地域完結型看護実践のための看護基礎教育の演習における実習指導者からの支援ニーズと大学教員の附属病院での看護実践に関するニーズ調査

### 3. 研修の評価

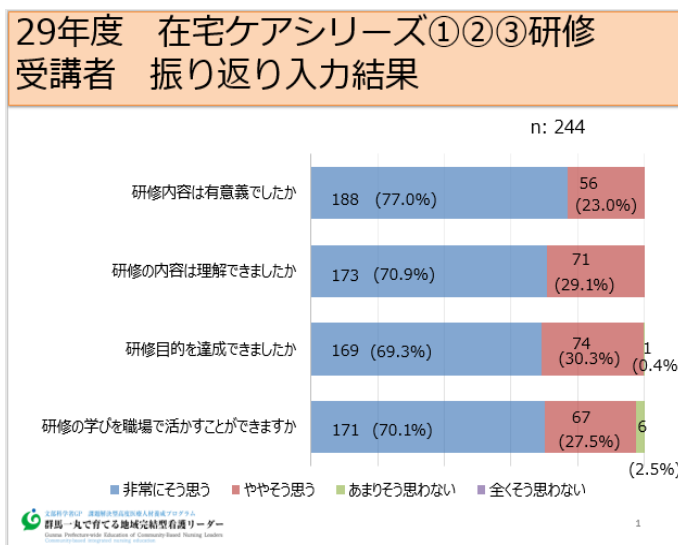


図2：在宅ケアシリーズ研修の評価

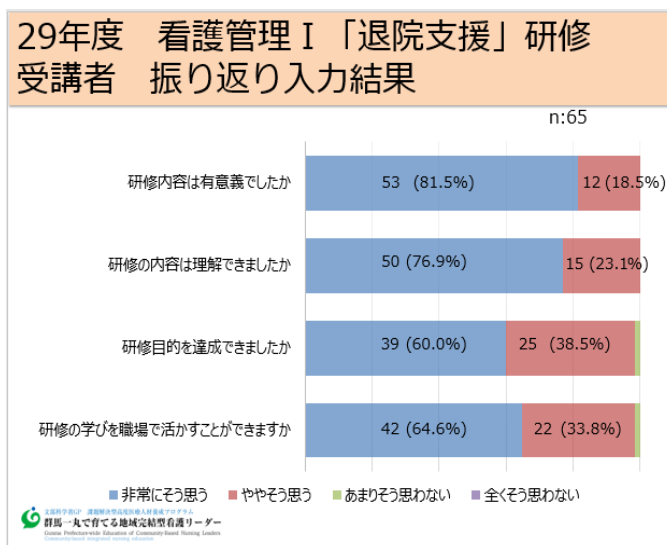


図3：看護管理 I 「退院支援」研修の評価

### 4. 活動内容の報告・発信

- 履修証明プログラムを修了した附属病院看護師による群馬一丸 GP 講演会での活動報告（平成 29 年 9 月 4 日）

テーマ：「暮らしを見据えた看護実践ができる看護職の教育実践」

- 第 37 回日本看護科学学会学術集会における交流集会の開催（平成 29 年 12 月 16 日）

「群馬一丸で育てる地域完結型看護人材の育成－病院と大学の協働による地域完結型看護人材育成の取り組み－」

- ①群馬一丸 GP 事業&附属病院と大学教員の協働による地域完結型看護人材育成の概要
- ②全看護職員への「在宅ケアマインド」についての周知活動
- ③暮らしを見据えた看護実践に向けた研修プログラムの概要と退院支援フローチャートの作成
- ④附属病院と大学の協働による地域完結型看護人材育成の取り組みの評価

- 論文発表

深澤友子, 常盤洋子, 中村美香, 塚越聖子, 高田幸子, 今井裕子, 金井好子, 大谷忠広, 富田千恵子, 貞形衣恵, 瀬沼麻衣子, 坂口知恵美, 牛久保美津子：大学病院における地域完結看護の実践者・指導者を養成する現任教育プログラムに関する実態調査, 北関東医学会誌, 第 67 巻 4 号, 2017.

中村美香, 常盤洋子, 塚越聖子, 高田幸子, 今井裕子, 大谷忠広, 金井好子, 富田千恵子, 深澤友子, 塚越徳子, 牛久保美津子, 貞形衣恵, 坂口知恵美, 瀬沼麻衣子, 箱崎友美：附属病院と大学の協働による地域完結型看護が実践できる看護職の育成-附属病院看護部と大学教員の協働による人材育成における基盤づくり-, 群馬保健学研究, 第 38 巻, 2018.